

環境実績報告

事業所名：長野事業所

報告範囲：長野事業所

所在地：長野県上伊那郡箕輪町大字三日町482-1

報告対象期間：2015年4月1日～2016年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 山口 昌利（総務部 総務課 次長）

区分	テーマ	目標	実績	評価	2016年度目標
1	地球温暖化対策	CO ₂ の排出量 1%抑制(2014年度・原単位比)	月平均85.7t-CO ₂ /m ³ 、2.1%削減	○	CO ₂ の排出量 1%抑制(2015年度・原単位比)
		電気エネルギー使用量 1%削減(2014年度・原単位比)	月平均160.0kWh/m ³ 、1.7%削減	○	電気エネルギー使用量 1%削減(2015年度・原単位比)
2	省エネルギーの推進/ 水資源の削減	井水使用量 1%削減(2014年度・原単位比)	月平均3.51m ³ /m ³ 、1.1%削減	○	井水使用量 1%削減(2015年度・原単位比)
3	廃棄物の削減	総排出量 1%削減(2014年度・原単位比)	月平均18.6kg/m ³ 、3.8%削減	○	総排出量 1%削減(2015年度・原単位比)
4	緊急事態の発生抑制	労働災害の発生抑制 休業4日以上労災:0件、4日未満労災:4件以下	休業4日以上労災:0件、4日未満労災:2件	○	労働災害の発生抑制 休業4日以上労災:0件、休業4日未満労災:10件以下
5	地域調和活動及び ボランティアの推進	環境調査活動及びボランティアへの参加推進	天竜川水系ピクニック参加、献血、 インターンシップ受入、地元地域への貢献等	○	環境調和活動及びボランティアへの参加推進

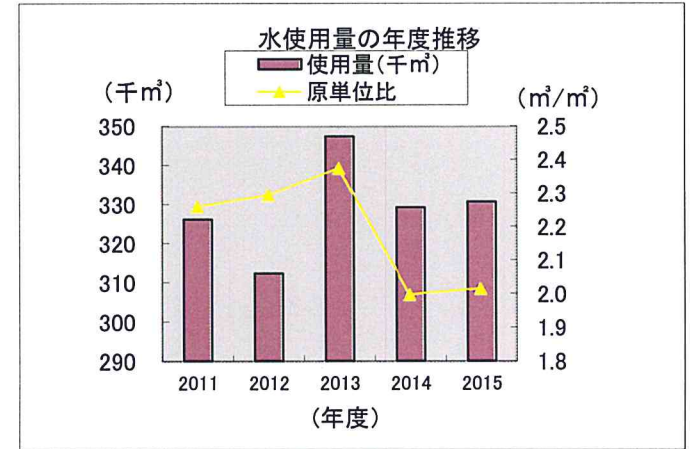
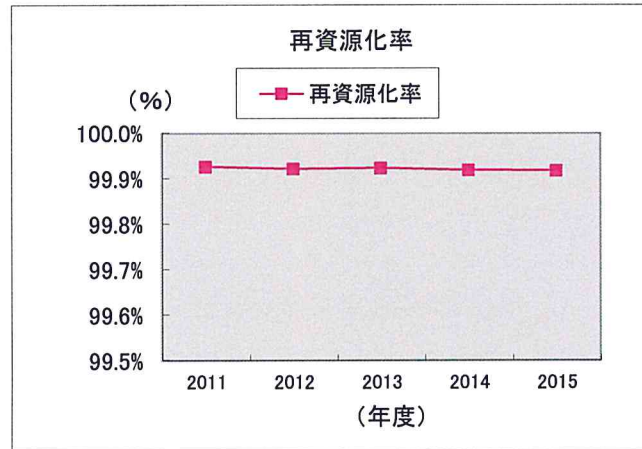
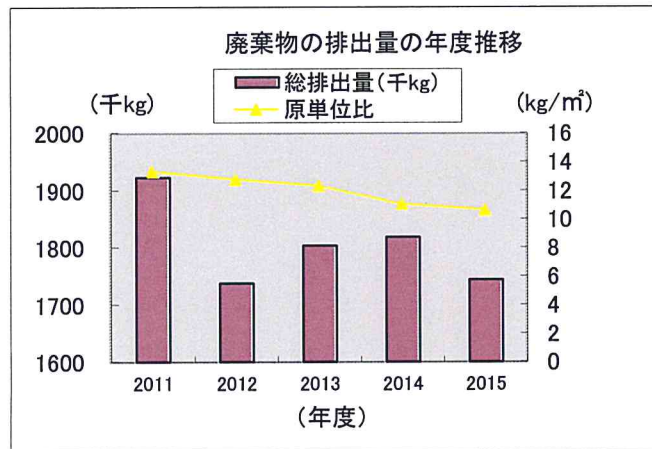
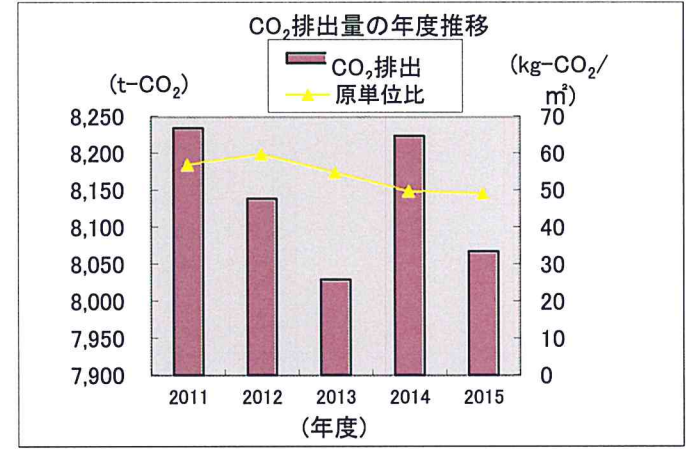
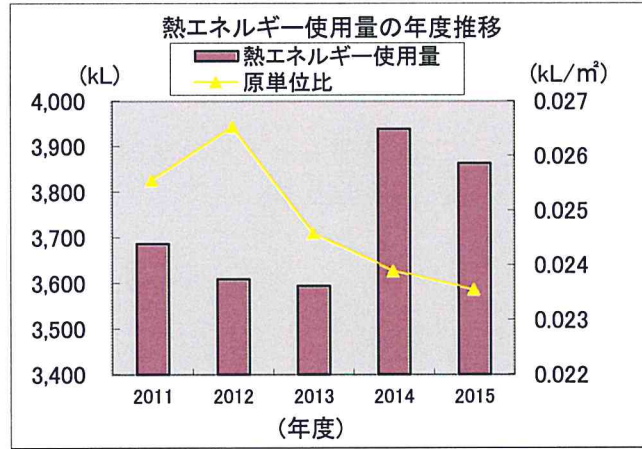
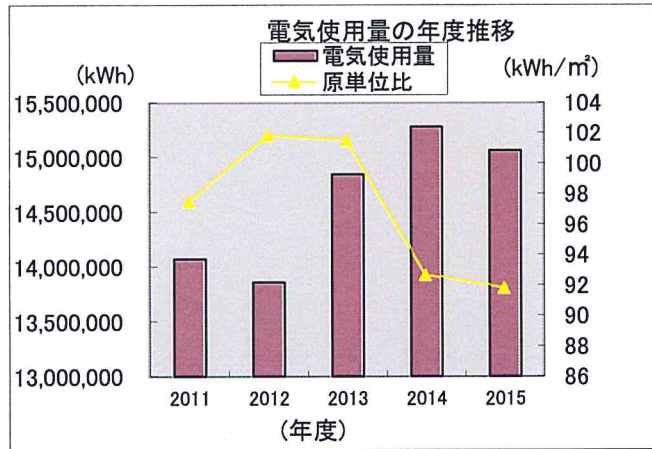
<各報告における注意事項>

- 1 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各事業所の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各事業所の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各事業所所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い事業所は報告から除外しております。
- 5 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 6 大阪事業所は、2013年度に美原工場・堺工場を集約しました。その為に2012年度以前と2013年以降のデータを比較できません。
- 7 キョウデンプレジジョンは、2015年7月からグループへ加入しましたので、2015年6月以前のデータは前会社のデータとなります。
- 8 長野事業所は、目標の原単位と環境負荷データの原単位は異なります。

環境負荷データ

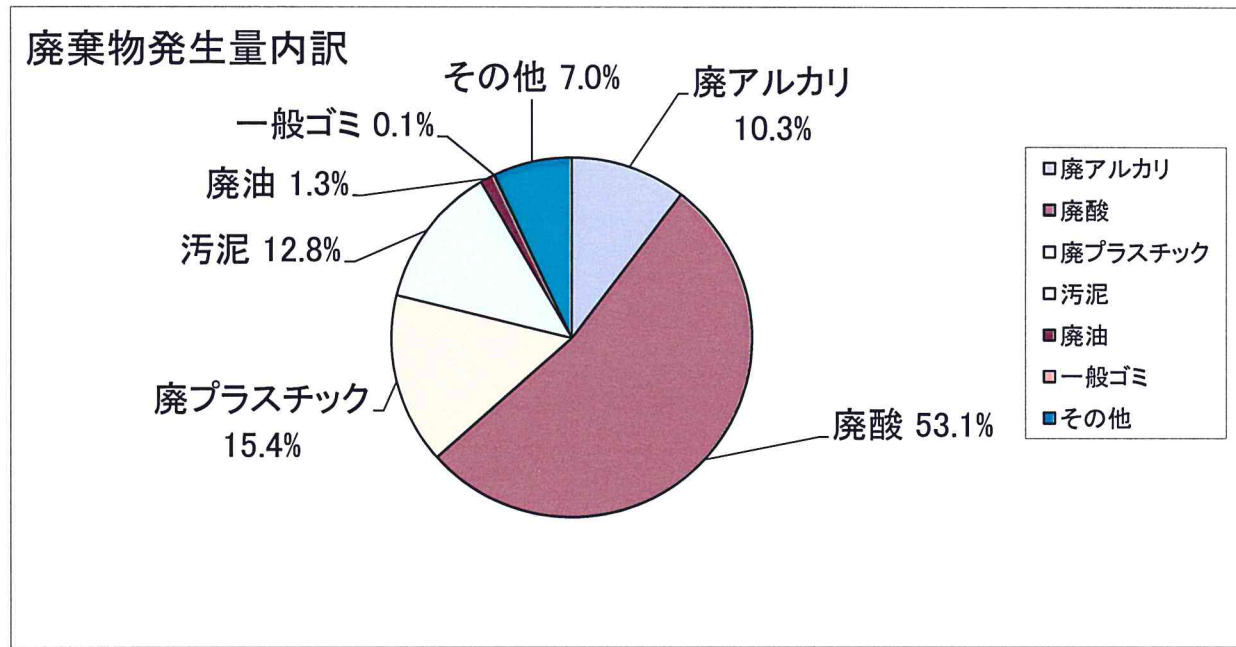
事業所名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果						大気の測定実績			
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	井水	pH	BOD	COD	SS	n-ヘキサン(鉱油類)	n-ヘキサン(動植物油類)	大腸菌群数	特定施設名		
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	個/cm ³	Nox(ppm)	Sox(ppm)	ばいじん(mg/m ³)
長野事業所	15,060,833	3,863	8,067	1743.833	1742.404	330.655	7.4-8.0 (5.8-8.6)	21(30)	18(30)	5(50)	1未満 (5)	1未満 (30)	57(3000)	該当無し	該当無し	該当無し

CO₂排出係数(電気):0.000518 t-CO₂/kWh



廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	180	10.3%
廃酸	926	53.1%
廃プラスチック	268	15.4%
汚泥	223	12.8%
廃油	23	1.3%
一般ゴミ	1	0.1%
その他	123	7.0%
合計	1744	100%



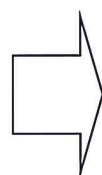
PRTRデータ

単位:kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量					移動量		
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
20	2-アミノエタノール	1800	0.5	260	0.0	0.0	260.5	0.0	1500	1500
71	塩化第二鉄	150000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	73000	0.0	94	0.0	0.0	94.0	0.0	0.0	0.0
291	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン	1100	0.1	7.1	0.0	0.0	7.2	0.0	760	760
395	ペルオキシ二硫酸ナトリウム	32000	0.0	26	0.0	0.0	26.0	0.0	32000	32000
411	ホルムアルデヒド	2900	14	0.41	0.0	0.0	14.41	0.0	2000	2000
	合計	260800	14.6	387.51	0.0	0.0	402.11	0.0	36260	36260

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,506 万kWh
重油	0 kL
灯油	42 kL
軽油	1 kL
都市ガス	0 km ³
LPG	26 km ³
資源	
地下水	331 千m ³
上水・工水	6 千m ³
基板コア材	169,355 m ²
段ボール	33 t
化学物質	
PRTR物質	261 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	8,067 t-CO ₂
水域	
河川	294 千m ³
下水	0 千m ³
廃棄物	
再資源化量	1,742 t
最終処分量	1 t
PRTR物質移動量	36 t

製品	
プリント配線板	94,180 m ²

※出荷面積

環境実績報告

事業所名：横浜事業所

報告範囲：横浜事業所

所在地：神奈川県横浜市都筑区川和町280番地

報告対象期間：2015年4月1日～2016年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 高橋 浩太郎（横浜工場長兼横浜生産技術課長）

区分	テーマ	目標	実績	評価	2016年度目標
1	地球温暖化防止対策	電気エネルギー使用量1.0%削減	月平均 7.565kWh/m ² 目標値に対し1.1%削減	○	電気エネルギー使用量1.0%削減
2	省エネルギーの推進/水資源の削減	上水使用量0.1%削減	月平均 0.071m ³ /m ² 目標値に対し4.4%増加	×	上水使用量0.05%削減
3	廃棄物の削減	産業廃棄物量0.1%削減	月平均 2.37kg/m ² 目標値に対し1.7%増加	×	産業廃棄物量1%削減
4	緊急事態の発生抑制	労働災害の発生抑制 目標値 休業4日以上：0件/年、その他：4件以下/年	休業4日以上：0件/年、その他：2件/年	○	休業4日以上：0件/年 休業4日未満：2件/年
5	化学物質管理体制の確立	作業主任者および法定資格者の異動、配置替えによる見直し、資格者の補充	作業主任者1名補充し、配置図の見直しを実施	○	作業主任者および法定資格者の異動、配置替えによる見直し、資格者の補充
6	地域調和活動及びボランティアの推進	工場近隣の美化活動	工場近隣の美化活動7回実施	○	工場近隣の美化活動2回/年

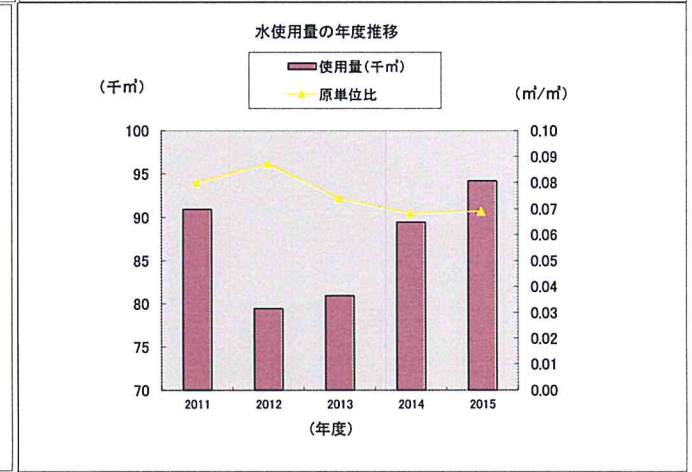
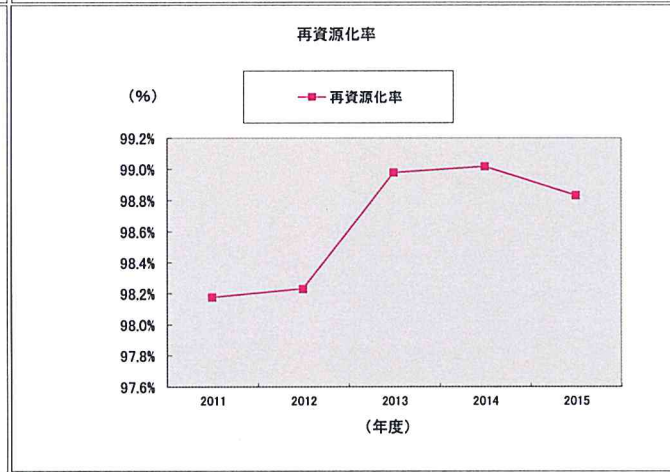
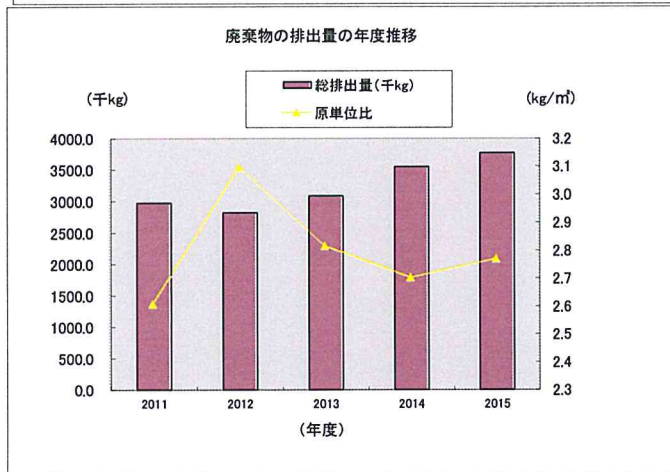
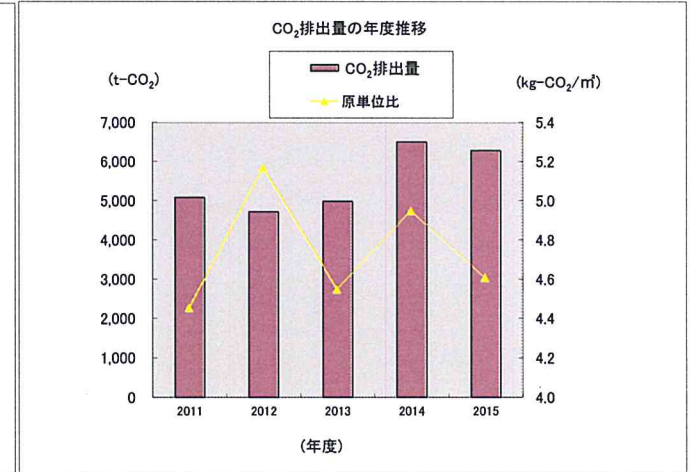
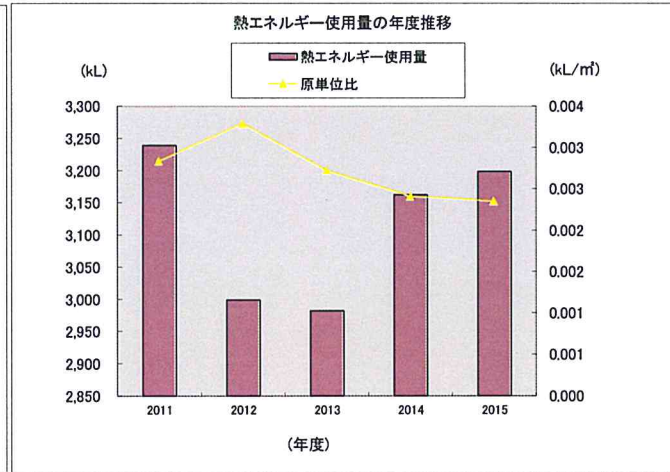
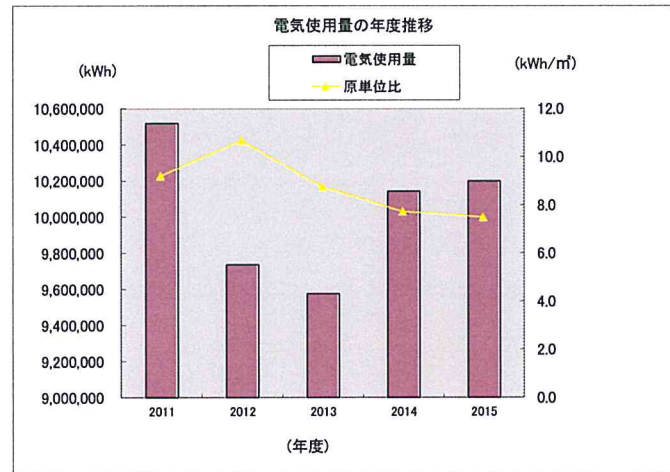
<各報告における注意事項>

- 1 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各事業所の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各事業所の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各事業所所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い事業所は報告から除外しております。
- 5 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 6 大阪事業所は、2013年度に美原工場・堺工場を集約しました。その為に2012年度以前と2013年以降のデータを比較できません。
- 7 キョウデンプレジジョンは、2015年7月からグループへ加入しましたので、2015年6月以前のデータは前会社のデータとなります。
- 8 長野事業所は、目標の原単位と環境負荷データの原単位は異なります。

環境負荷データ

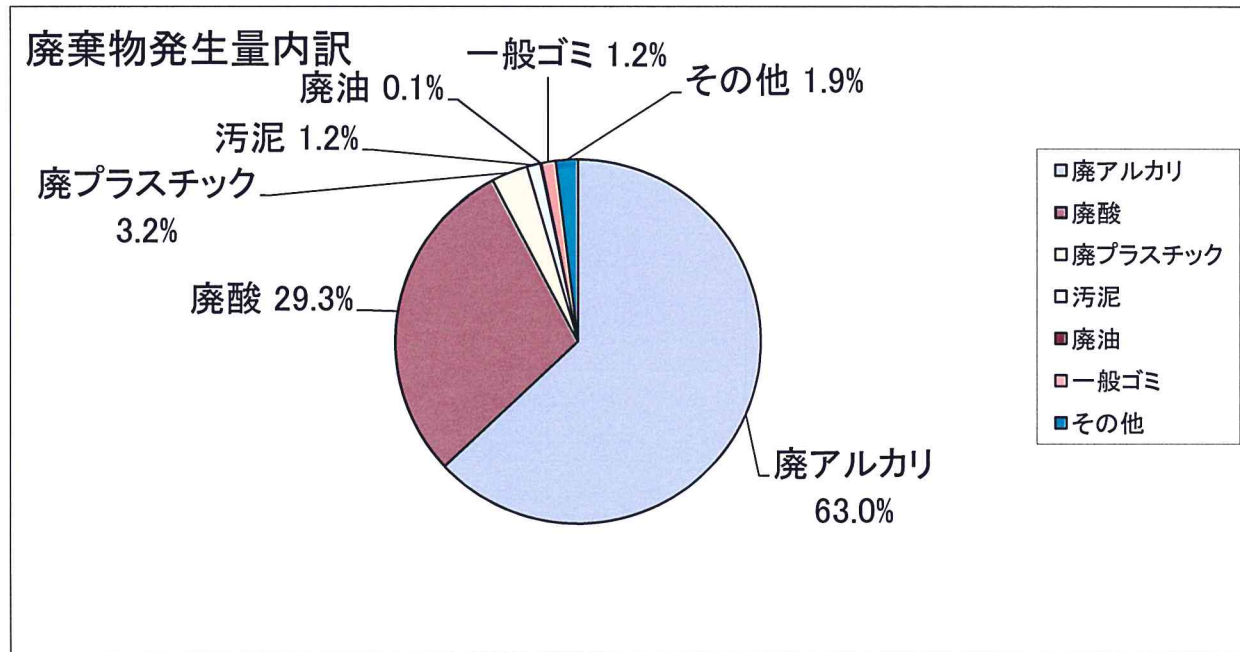
事業所名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果													大気の測定実績			大気の測定実績		
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	市水	pH	BOD	SS	Cu	Ni	T-N	T-P	Cn	Pb	D-Mn	D-Fe	B	NH4N	n-ヘキサン(鉱油類)	ボイラー1号機	ボイラー2号機	冷水発生機R-1	冷水発生機R-2	冷水発生機R-4
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	Nox(ppm)	Sox(ppm)	ばいじん(mg/m ³)	Nox(ppm)	Sox(ppm)
横浜事業所	10,199,142	3,198	6,272	3771.413	3727.389	94.187	6.5/5を え9未満	51/600未 満	2/600未 満	0.34/1以 下	0.1未満 /1以下	5.1/120 未満	0.19/16 未満	0.1未満 /1以下	0.05未満 /1以下	0.2未満 /3以下	0.05未満 /10以下	3.7/380 未満	1未満/5 以下	55 50	該当無し	1未満	44 33 30	該当無し	1未満

CO₂排出係数:0.496



廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	2376	63.0%
廃酸	1105	29.3%
廃プラスチック	122	3.2%
汚泥	44	1.2%
廃油	4	0.1%
一般ゴミ	47	1.2%
その他	74	1.9%
合計	3771	100%



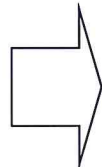
PRTRデータ

単位:kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量					移動量		
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
53	エチルベンゼン	1310	1011	0	0	0	1011	0	299	299
80	キシレン	1310	990	0	0	0	990	0	320	320
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	73661	0	0	0	0	0	16	60811	60827
411	ホルムアルデヒド	3200	32	0	0	0	32	0	230	230
	合計	79480	2033	0	0	0	2033	16	61660	61676

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,020 万kWh
重油	0 kL
灯油	0 kL
軽油	0 kL
都市ガス	554 km ³
LPG	0 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	94 千m ³
基板コア材	68,037 m ²
段ボール	13 t
化学物質	
PRTR物質	79 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	6,272 t-CO ₂
水域	
河川	0 千m ³
下水	88 千m ³
廃棄物	
再資源化量	3,727 t
最終処分量	44 t
PRTR物質移動量	62 t

製品	
プリント配線板	53,578 m ²

※出荷面積

環境実績報告

事業所名：東北事業所

報告範囲：東北工場、プレマルチセンター

所在地：東北工場(福島県いわき市好間工業団地22-5)
プレマルチセンター(茨城県北茨城市中郷町日棚字宝壺644-12)

報告対象期間：2015年4月1日～2016年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 田河 浩 (茨城製造部 部長)

区分	テーマ	目標	実績	評価	2016年度目標
1	省エネルギーの推進	エネルギー原単位 1%削減(2014年度・原単位比)	4.8%削減	○	エネルギー原単位 1%削減(2015年度・原単位比)
2	資源有効活用	廃棄物の排出量 1%削減(2014年度・原単位比)	1.0%削減	○	廃棄物の排出量 1%削減(2015年度・原単位比)
3		コピー用紙使用量 5%削減(2014年度・使用量比)	4.0%増加	×	コピー用紙使用量 5%削減(2015年度・使用量比)
4	製品含有化学物質管理の推進	環境品質不適合発生0件	環境品質不適合発生なし	○	環境品質不適合発生0件

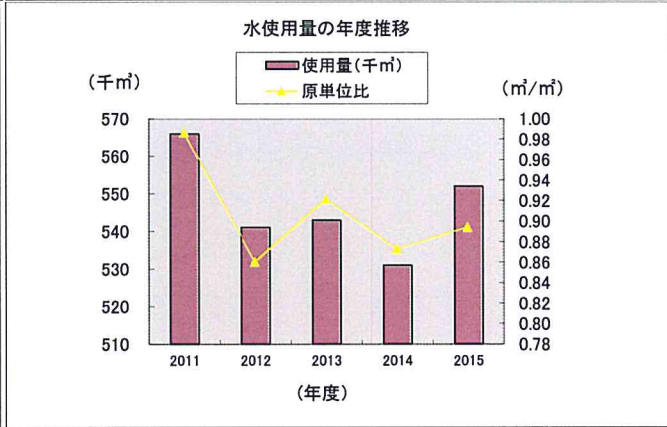
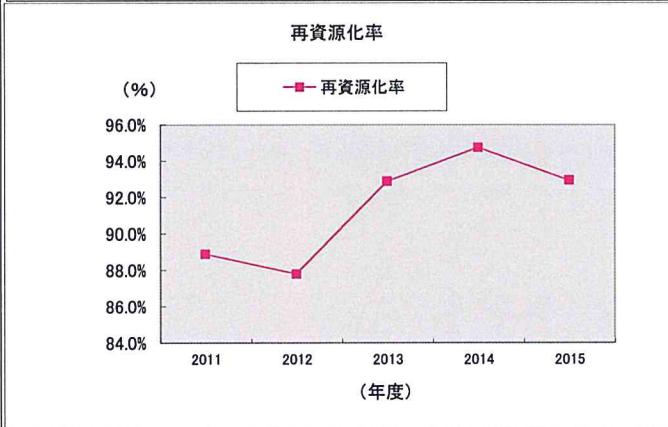
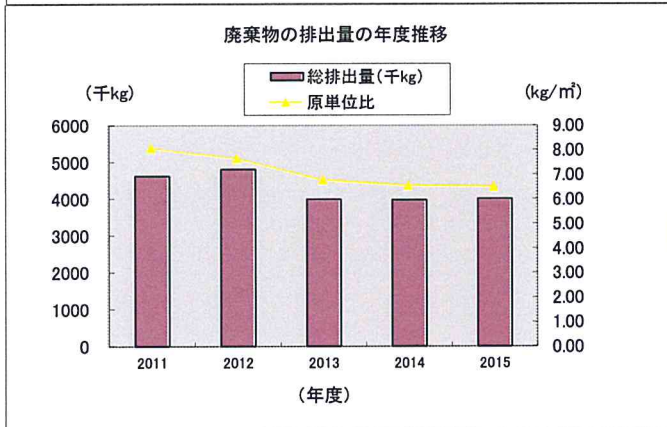
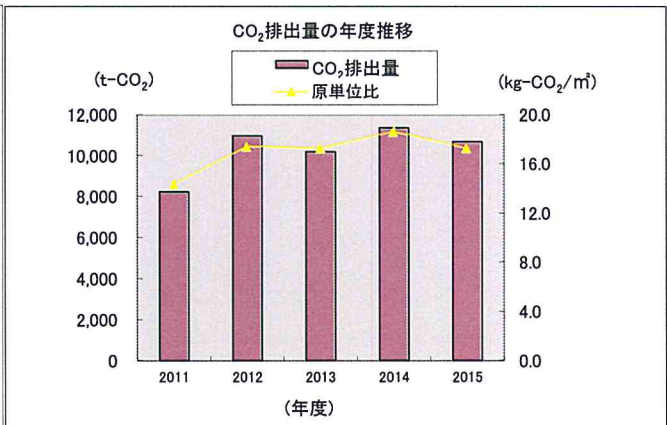
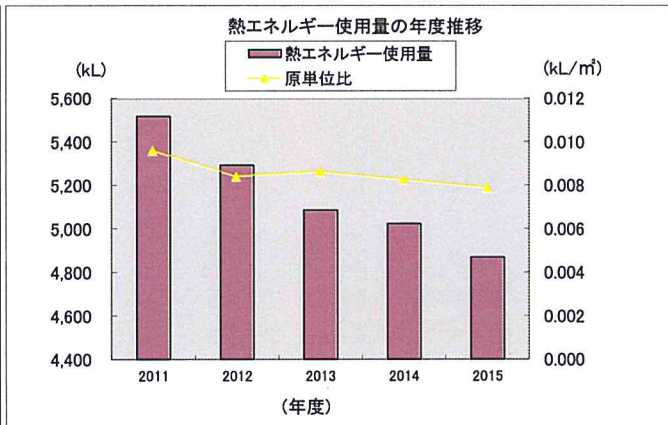
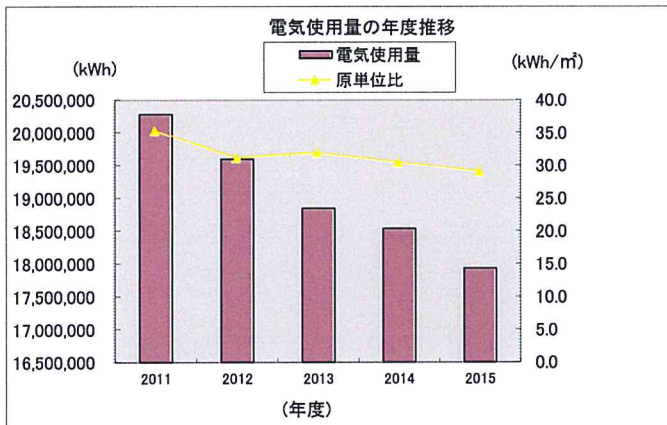
<各報告における注意事項>

- 1 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各事業所の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各事業所の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各事業所所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い事業所は報告から除外しております。
- 5 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 6 大阪事業所は、2013年度に美原工場・堺工場を集約しました。その為に2012年度以前と2013年以降のデータを比較できません。
- 7 キョウデンプレジジョンは、2015年7月からグループへ加入しましたので、2015年6月以前のデータは前会社のデータとなります。
- 8 長野事業所は、目標の原単位と環境負荷データの原単位は異なります。

環境負荷データ

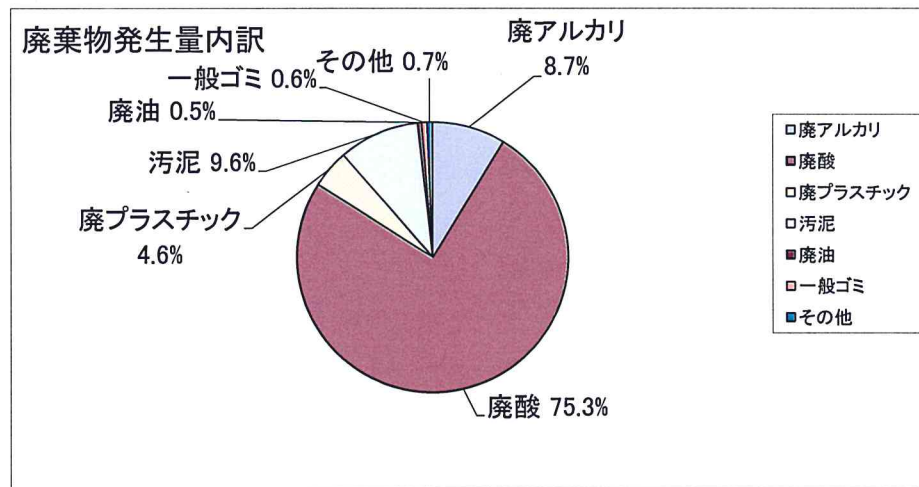
事業所名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果							大気の実績				大気の実績					
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	市水	pH	BOD	SS	n-ヘキササン(鉱油類)	n-ヘキササン(動植物油類)	銅含有量	溶解性鉄含有量	溶解性マンガン含有量	特定施設名: 蒸気ボイラーNo.1				特定施設名: 蒸気ボイラーNo.2				
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	Nox(ppm)	Sox(ppm)	ばいじん(mg/m ³)	硫酸酸化物K値	Nox(ppm)	Sox(ppm)	ばいじん(mg/m ³)	硫酸酸化物K値	
東北工場	17,929,400	4,869	10,687	4007	3725	552	7.9(6-8)	7.1(12)	10.2(30)	-	-	0.4(1.5)	1.0(8)	-	該当無し	該当無し	該当無し	該当無し	該当無し	該当無し	該当無し	該当無し	該当無し
プレマラルチセンター							7.4(5.8-8.6)	21(25)	1.8(40)	<0.5(5)	<0.5(10)	<0.05(3)	0.1(10)	0.3(10)	該当無し	該当無し	該当無し	0.22(13)	該当無し	該当無し	該当無し	0.24(13)	

CO₂排出係数: 東北工場(0.573)、プレマラルチセンター(0.496)



廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	349	8.7%
廃酸	3019	75.3%
廃プラスチック	183	4.6%
汚泥	384	9.6%
廃油	20	0.5%
一般ゴミ	25	0.6%
その他	27	0.7%
合計	4007	100%



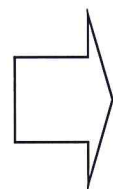
PRTRデータ

単位:kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量					移動量		
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動	移動量合計
20	2-アミノエタノール	1061	0	0	0	0	0	0	1061	1061
71	塩化第二鉄	686324	0	0	0	0	0	0	0	0
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	87640	0	0	0	0	0	0	1150	1150
300	トルエン	5353	4282	0	0	0	4282	0	1071	1071
395	ペルオキシ二硫酸ナトリウム	5676	0	0	0	0	0	0	5676	5676
405	ほう素化合物	1534	0	0	0	0	0	0	1534	1534
411	ホルムアルデヒド	3210	0	0	0	0	0	0	3210	3210
	合計	790798	4282	0	0	0	4282	0	13702	13702

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,793 万kWh
重油	278 kL
灯油	0 kL
軽油	0 kL
都市ガス	0 km ³
LPG	37 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	552 千m ³
基板コア材	347,147 m ²
段ボール	27 t
化学物質	
PRTR物質	791 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	10,687 t-CO ₂
水域	
河川	546 千m ³
下水	0 千m ³
廃棄物	
再資源化量	3,725 t
最終処分量	282 t
PRTR物質移動量	14 t

製品	
プリント配線板	292,736 m ²

※出荷面積

環境実績報告

事業所名：大阪事業所

報告範囲：大阪工場、貝塚工場

所在地：大阪工場(大阪府泉大津市臨海町1-4-2)

貝塚工場(大阪府貝塚市二色中町6-7)

報告対象期間：2015年4月1日～2016年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 中 敏彦（大阪環境保全課 課長）

区分	テーマ	目標	実績	評価	2016年度目標
1	エネルギー及び資源の有効利用	電気使用量の削減(前年度比1%削減)	-4.90%	×	電気使用量の削減(前年度比1%削減)
2		CO2排出量の削減(前年度比1%削減)	-6.20%	×	CO2排出量の削減(前年度比1%削減)
3		廃棄物の削減(前年度比1%削減)	4.50%	○	廃棄物の削減(前年度比1%削減)

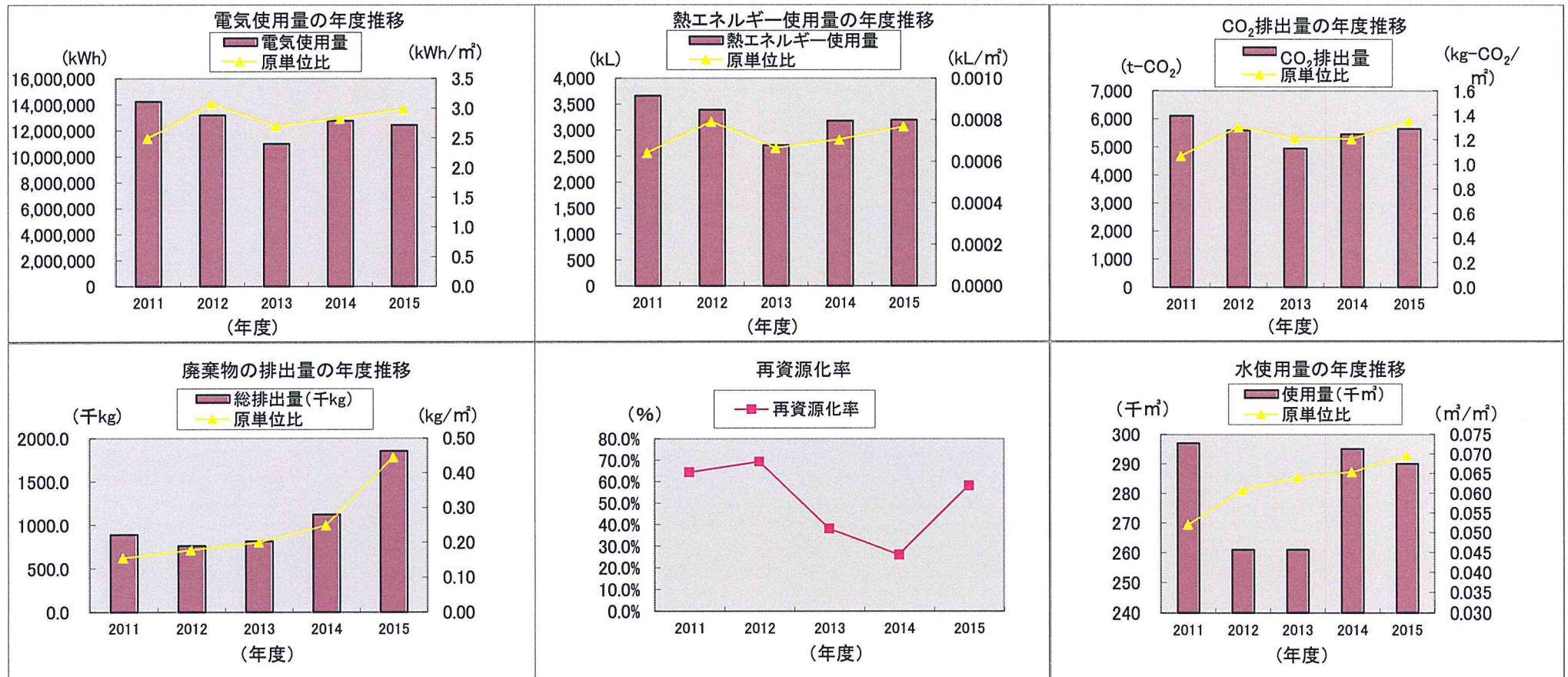
<各報告における注意事項>

- 1 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各事業所の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各事業所の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各事業所所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い事業所は報告から除外しております。
- 5 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 6 大阪事業所は、2013年度に美原工場・堺工場を集約しました。その為に2012年度以前と2013年以降のデータを比較できません。
- 7 キョウデンプレジジョンは、2015年7月からグループへ加入しましたので、2015年6月以前のデータは前会社のデータとなります。
- 8 長野事業所は、目標の原単位と環境負荷データの原単位は異なります。

環境負荷データ

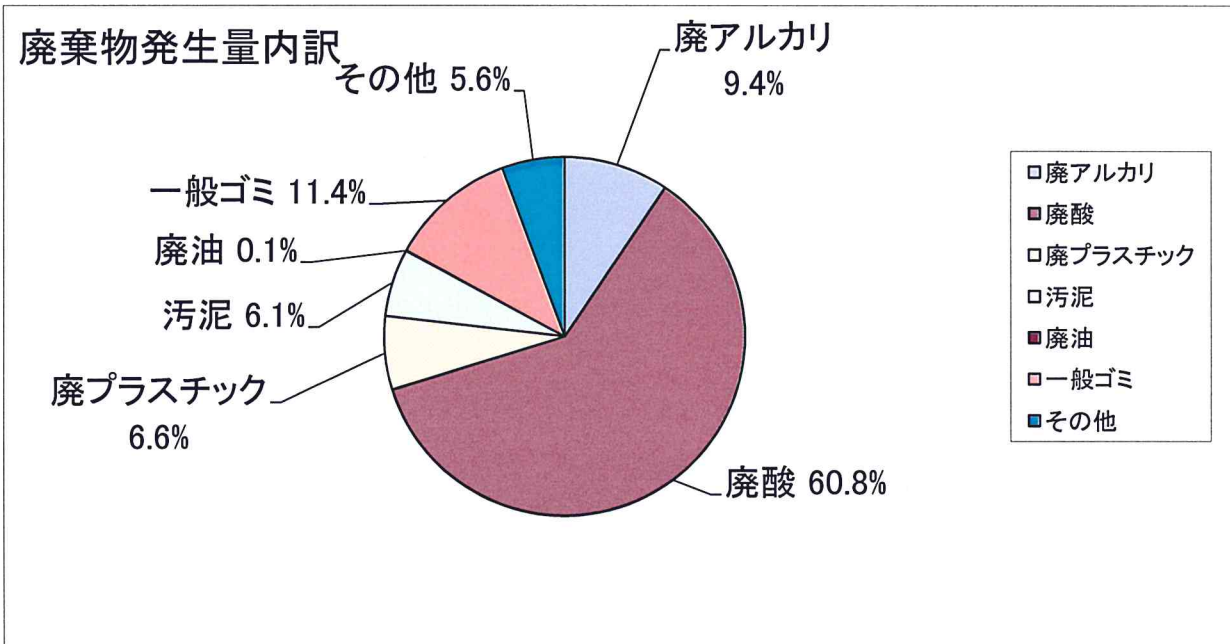
事業所名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果						大気の測定実績			
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	井水	pH	BOD	COD	SS	n-ヘキサン(鉱油類)	n-ヘキサン(動植物油類)	大腸菌群数	特定施設名		
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	個/cm ³	Nox(ppm)	Sox(ppm)	ばいじん(mg/m ³ N)
大阪工場	12,430,504	3,197	5,638	1853	1079	290	7.7(6.0-8.3)	7(15)	12(15)	1未満(-)	1未満(-)	1未満(-)	-	該当無し	該当無し	該当無し
貝塚工場							7.4(5.7-8.7)	7(300)	14(-)	3(300)	1未満(5)	1未満(30)	-	該当無し	該当無し	該当無し

CO₂排出係数:0.531



廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃アルカリ	174	9.4%
廃酸	1127	60.8%
廃プラスチック	123	6.6%
汚泥	113	6.1%
廃油	1.2	0.1%
一般ゴミ	211	11.4%
その他	104	5.6%
合計	1853	100%



PRTRデータ

単位:kg/年

政令番号	物質名	取扱量	排出量				移動量		
			大気への排出	公共用水域への排出	土壌への排出	埋立処分	排出量合計	下水道に移動	事業所外に移動
71	塩化第二鉄	123280	0	0	0	0	0	0	0
272	銅水溶性塩(錯塩除く)	18300	0	320	0	0	0	0	0
300	トルエン	3634	1600	0	0	0	0	1200	1200
308	ニッケル	3125	0	0	0	0	50	0	50
395	ペルオキシ二硫酸ナトリウム	7297	0	0	0	0	550	0	550
411	ホルムアルデヒド	1813	0	0	0	0	0	1813	1813
	合計	157449	1600	320	0	0	600	3013	3613

マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	1,243 万kWh
重油	0 kL
灯油	0 kL
軽油	6 kL
都市ガス	506 km ³
LPG	0 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	290 千m ³
基板コア材	74,287 m ²
段ボール	16 t
化学物質	
PRTR物質	157 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	5,448 t-CO ₂
水域	
河川	161 千m ³
下水	92 千m ³
廃棄物	
再資源化量	1,079 t
最終処分量	774 t
PRTR物質移動量	3.6 t

製品	
プリント配線板	143,024 m ²

※出荷面積

Environmental results report

Company name : Kyoden(Thailand)Co., Ltd.

Factory name : Thai Factory

Address : 209 Moo 8, Yutthasat 331 Rd., Bowin, Sriracha, Chonburi 20230 Thailand
 34/4 Moo 8, Yutthasat 331 Rd., Bowin, Sriracha, Chonburi 20230 Thailand

Report object period: 2015/4/1~2016/3/31

Report person in charge: Ms. Pasita Sukprasert / ISO/Document & Environment Ass't GM

No	Theme	Aim of 2015	The results	Evaluation	Aim of 2016
1	Regional harmonization activities	Claim environmental neighbors must be zero	2	X	0
2	Preventing of global warming	Total electric consumption per unit (SEC)less than 44.00 kWh / m ²	38.38 kWh /m ²	O	42 kWh /m ²
3		Boiler fuel consumption shall not over 30.00 SCF/m ² (2014)	31.63 SCF/m ²	X	-
4		Carbon Dioxide (CO ₂) Concentration Consumption /1.80 Kg / m ² (2014)	1.9 Kg /m ²	X	-
5	Promotion of energy conservation/ Reduction of water resources	Water Resources Consumption / 0.70 m ³ / m ²	0.55 m ³ /m ²	O	0.67 m ³ /m ²
6	Reduction of waste	White cloth shell not over 1.4 t/month	1.321.4 t	O	1.39 t/month
7		Etching waste shall be down 3 % from 2014 (t)/each of month	-8.73%	X	Reduce 1% from 2015/each of month
8		Chelate waste shall be down 3 % from 2014 (t)/each of month	18.51%	O	Reduce 30% from 2015/each of month (F.3) start Apr'16

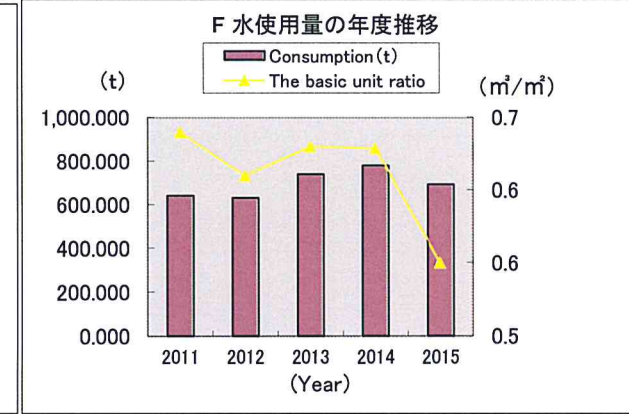
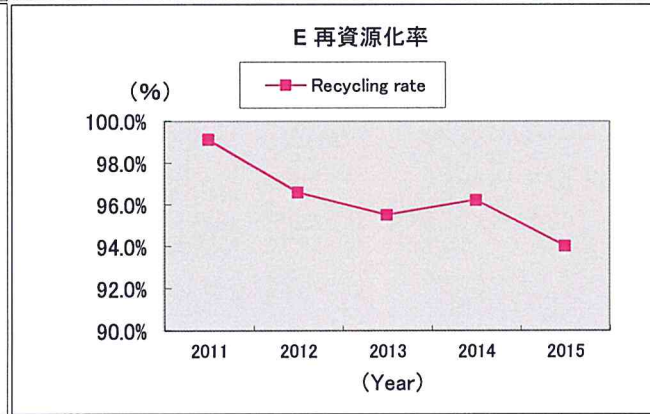
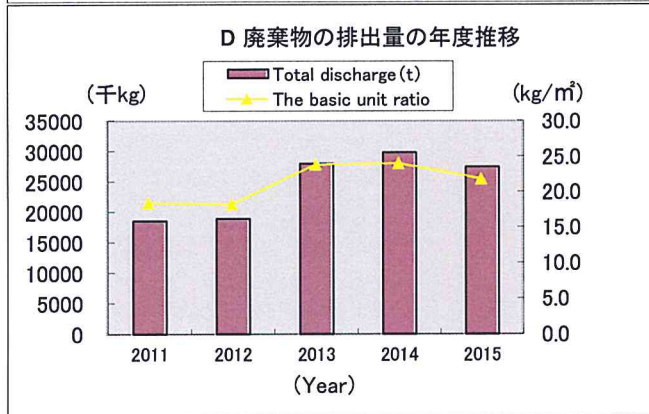
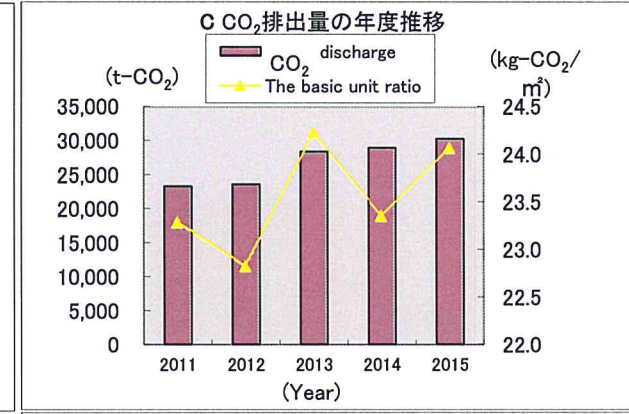
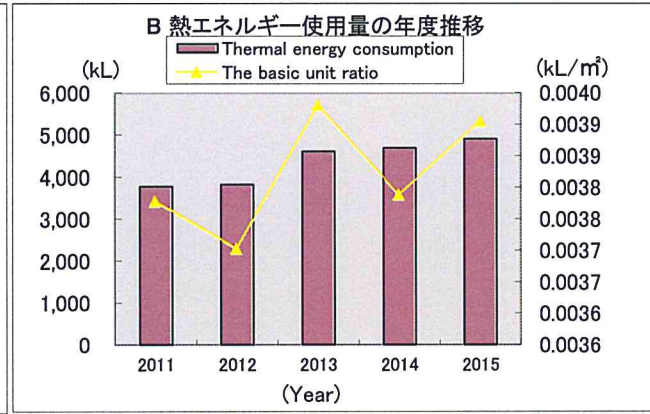
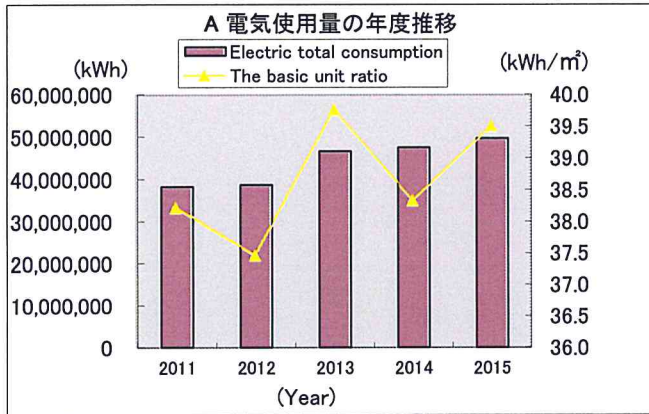
<Instructions in the report>

- 1 About a crude oil conversion factor and a CO₂ emission coefficient, it varies according to an electric power company, the gas company of each factory.
- 2 About aquatic resources, the use source of a river of each factory is different.
- 3 Because laws and regulations vary according to the local government of each factory location about water quality measurement, a measurement item and the standard values are different.
- 4 About the atmosphere measurement, I exclude the factory without facilities targeted for laws and regulations from a report.

環境負荷データ(load data)

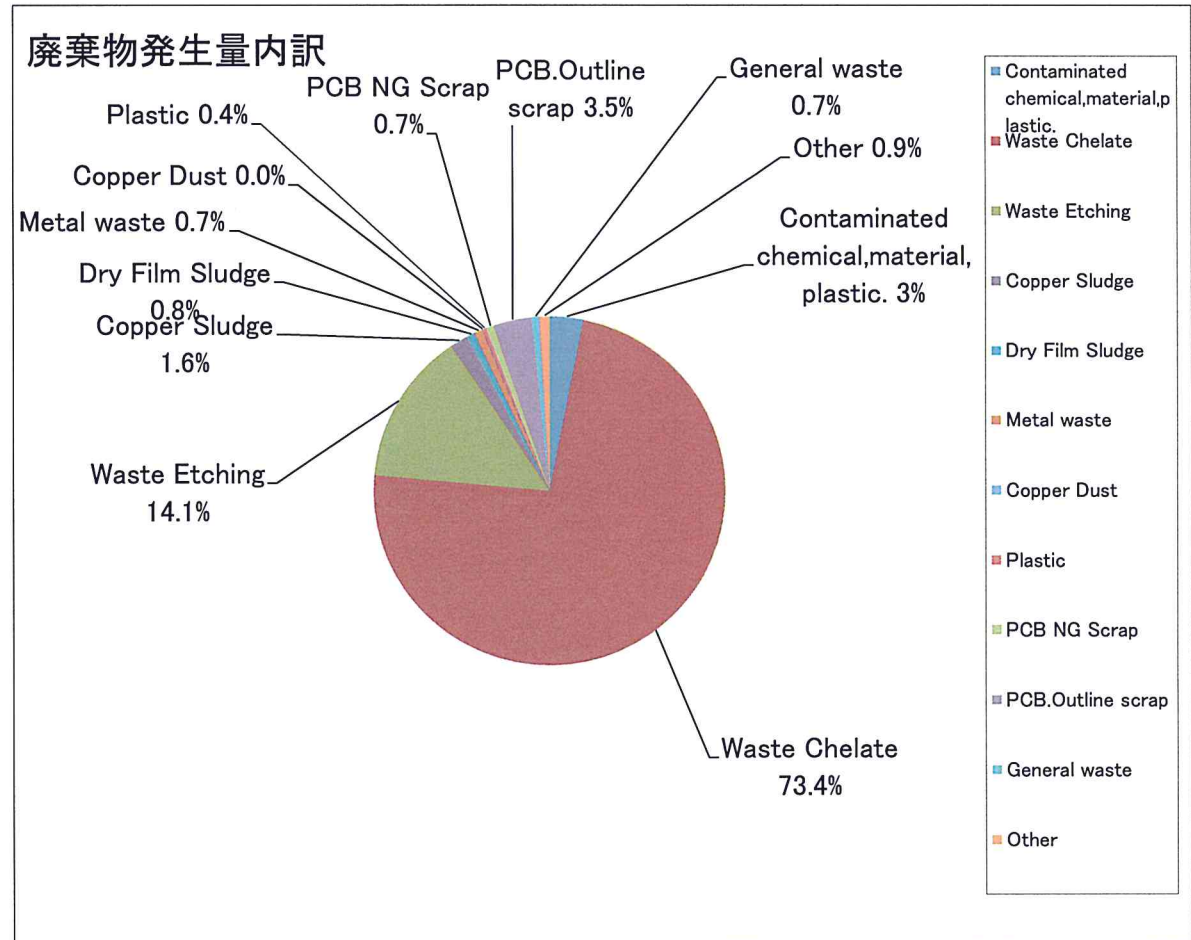
工場名 (Factory name)	エネルギー(Energy)			廃棄物(Waste)		水資源(Aquatic resources)	水質測定結果(Water quality measurement result)				大気の測定実績 (The atmospheric measurement results)
	Electric total consumption	Thermal energy consumption	CO ₂ discharge	Total discharge	Quantity of recycling	Water for industrial use	pH	BOD	COD	SS	特定施設名(Specific facilities name)
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(t)	(t)	Consumption(千㎡)	-	mg/L	mg/L	mg/L	ばいじん(mg/m ³ N)
Thai factory	49,623,600	4,905	30,236	27,458.50	26,293.90	691.331	7.89 (5.5-9)	39.5 (500)	124.92 (750)	12.66	0.165

CO₂Discharge coefficient: 0.6093 (Electricity: 電気)



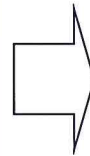
廃棄物発生量内訳(Breakdown of the quantity of waste outbreak)

廃棄物名(Name of the waste)	発生量 Quantity of outbreak(t)	割合(Ratio)
Contaminated chemical,material,plastic.	851.600	3.10%
Waste Chelate	20144.190	73.36%
Waste Etching	3878.470	14.12%
Copper Sludge	451.884	1.65%
Dry Film Sludge	208.500	0.76%
Metal waste	195.347	0.71%
Copper Dust	11.930	0.04%
Plastic	119.897	0.44%
PCB NG Scrap	181.066	0.66%
PCB.Outline scrap	967.509	3.52%
General waste	197.156	0.72%
Other	250.954	0.91%
合計	27,459	100%



マテリアルバランス(Material balance)

INPUT	
エネルギー(Energy)	
電気(Electricity)	49,624 MWh
重油(Heavy oil)	0 kL
灯油(Kerosene)	0 kL
軽油(Light oil)	0 kL
都市ガス(Gas)	377 km ³
LPG(Liquefied natural gas)	0 km ³
資源(Resources)	
地下水(Groundwater)	0 t
上水・工水(Water supply)	691 t
基板コア材(Board Core)	915,971 m ²
段ボール(Corrugated cardboard)	140 t



OUTPUT	
大気(Atmosphere)	
CO ₂	30,236 t-CO ₂
水域(Area of the sea)	
河川(River)	0.00 t
下水(Sewage)	553 t
廃棄物(Waste)	
再資源化量(Quantity of recycling)	26,294 t
最終処分量(Quantity of last disposal)	1,165 t
製品(Product)	
プリント配線板(Printed wiring board)	867,187 m ²

※出荷面積(Shipment area)

環境実績報告

事業所名：株式会社キョウデンプレシジョン

報告範囲：株式会社キョウデンプレシジョン

所在地：静岡県伊豆の国市三福80-2

報告対象期間：2015年4月1日～2016年3月31日

報告責任者：環境管理責任者 岩本 公男（管理部 総務課 主任）

区分	テーマ	目標	実績	評価	2016年度目標
1	化学物質取扱量の削減	化学物質取扱量の削減(2,436t以下) ('2012年度比97%以下に抑制)	1,527.71t	○	2015年度 生産高原単位比『1%削減』 (2015年)0.25775(Kg/百万円)⇒(2016年)0.25520(Kg/百万円)
2	廃棄物削減	最終処分率0.07%以下の維持・向上	0.05%	○	0.07%以下の維持・向上
		総発生量の削減(249.9t以下) ('2012年度比97%以下に抑制)	261.66t	×	2015年度 生産高原単位比『1%削減』 (2015年)0.04869(Kg/百万円)⇒(2016年)0.04821(Kg/百万円)
3	水使用量削減	水受入量の削減(7,538m ³ 以下) (2012年度比97%以下に抑制)	9458m ³	×	①2015年度 人数単位比『1%削減』 (2015年)4.144(t/人)⇒(2016年)4.103(t/人) ②2015年度 生産高原単位比『1%削減』 (2015年)1.75157(m ³ /百万円)⇒(2016年)1.73441(m ³ /百万円)
4	省エネルギー	電力使用量の削減(2,873千kwh以下) ('2012年度比97%以下に抑制)	3315.212千kwh	×	2015年度 生産高原単位比『1%削減』 (2015年)0.57864(千kWh/百万円)⇒(2016年)0.57291(千kWh/百万円)

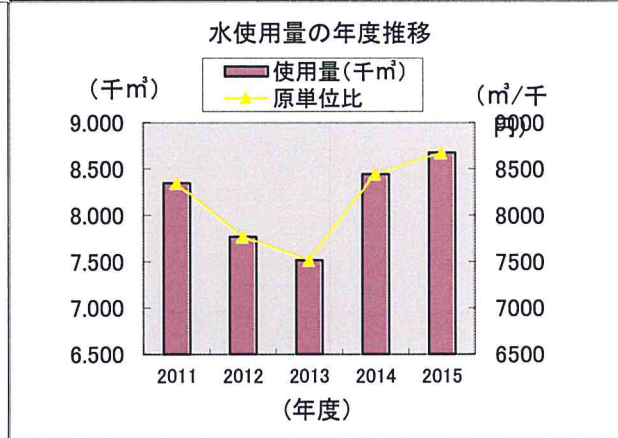
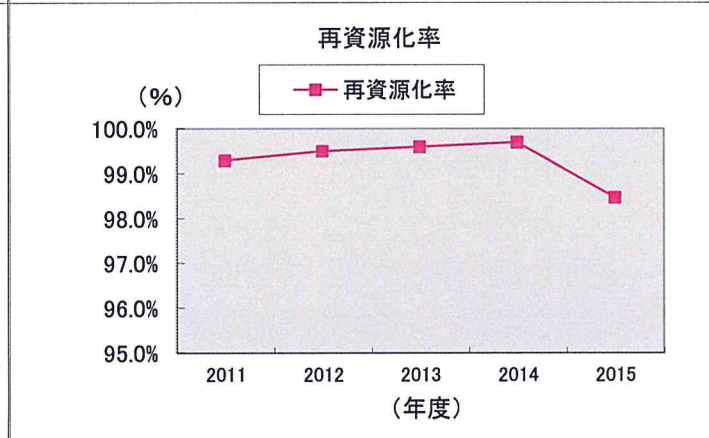
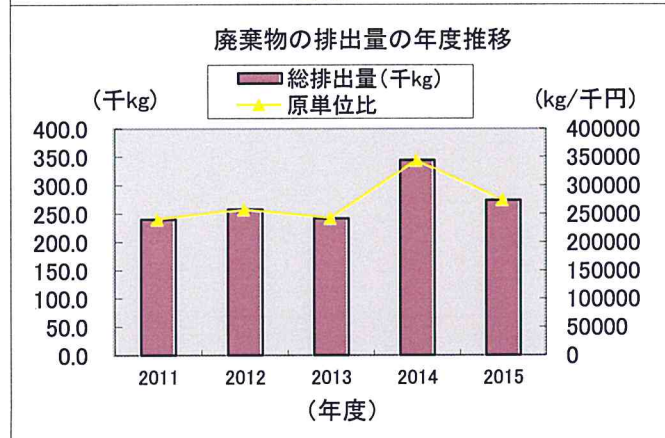
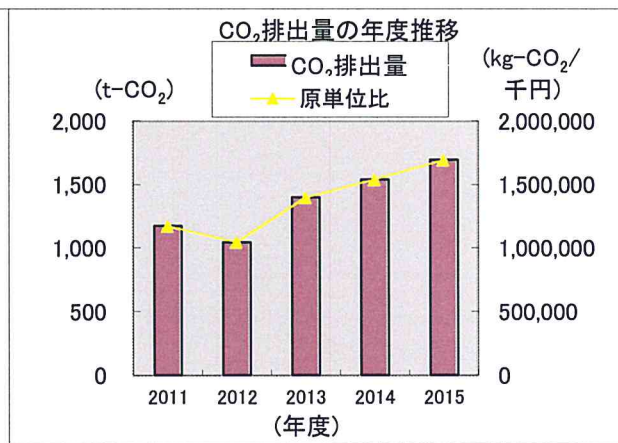
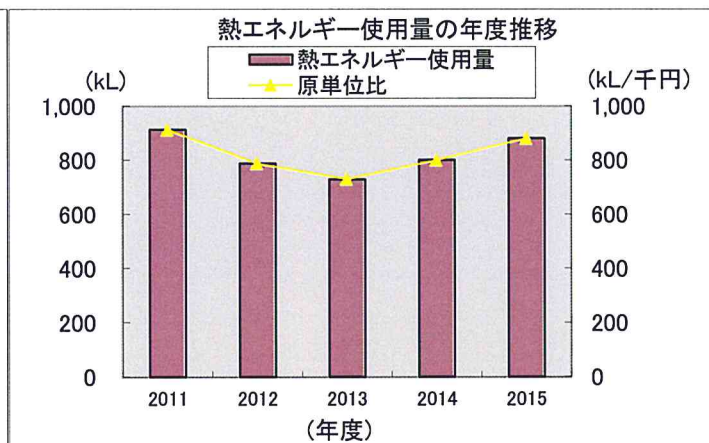
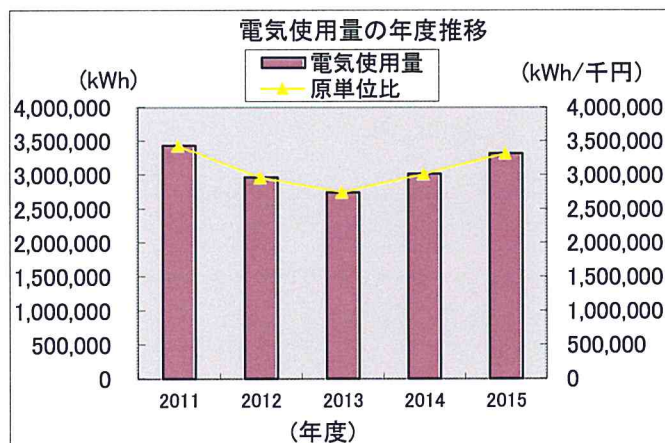
<各報告における注意事項>

- 1 原油換算係数及びCO₂排出係数について、各事業所の電力会社・ガス会社により異なります。
- 2 水資源について、各事業所の使用水源が異なります。
- 3 水質測定について、各事業所所在地の自治体により法規制が異なるため、測定項目及び基準値が異なります。
- 4 大気測定について、法規制対象設備が無い事業所は報告から除外しております。
- 5 PRTRデータは、各行政自治体への届出数値(有効数字2桁)です。
- 6 大阪事業所は、2013年度に美原工場・堺工場を集約しました。その為に2012年度以前と2013年以降のデータを比較できません。
- 7 キョウデンプレシジョンは、2015年7月からグループへ加入しましたので、2015年6月以前のデータは前会社のデータとなります。
- 8 長野事業所は、目標の原単位と環境負荷データの原単位は異なります。

環境負荷データ

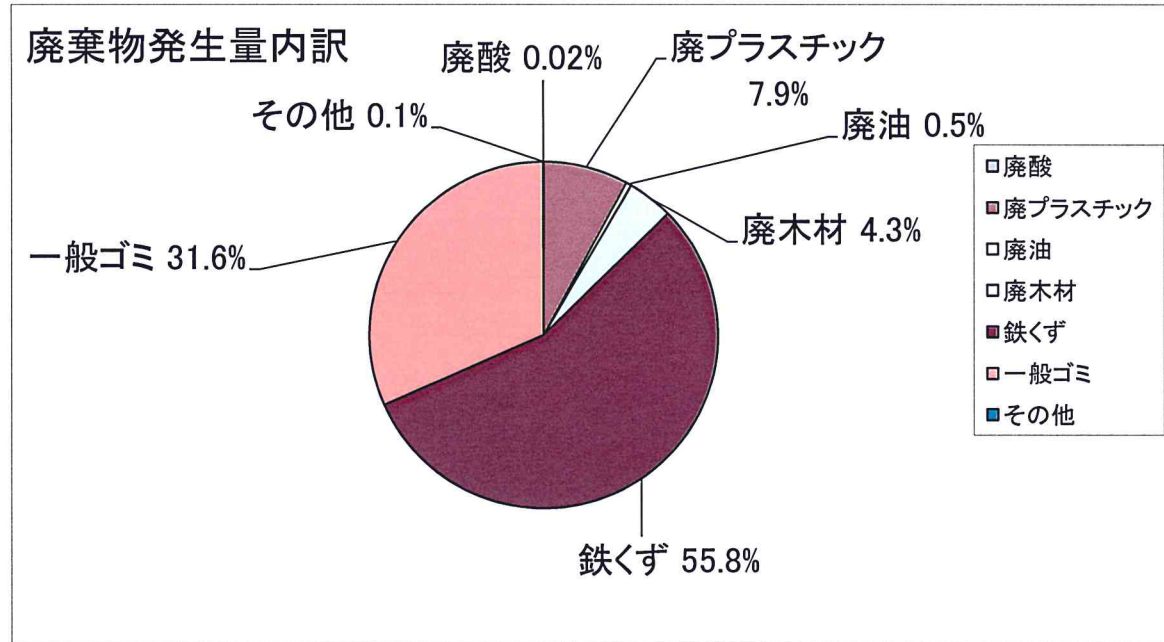
事業所名	エネルギー			廃棄物		水資源	水質測定結果								
	電気使用量	熱エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	総排出量	再資源化量	井水	pH	BOD	COD	SS	n-ヘキサン(鉱油類)	n-ヘキサン(動植物油類)	大腸菌群数	アンモニア、亜硝酸化合物等	鉛及びその化合物
	(kWh)	(kL)	(t-CO ₂)	(千kg)	(千kg)	使用量(千m ³)	-	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	個/ml	mg/l	mg/l
キョウデンプレジジョン	3,315,212	880	1,695	274.1308	269.947	8.675	8.6 (5.2~8.8)	83 (550)		20 (550)	<0.5	9	300 (2400)	31 (100)	<0.01 (0.08)

CO₂排出係数: 5.1



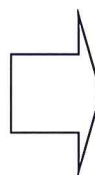
廃棄物発生量内訳

廃棄物名	発生量(t)	割合
廃酸	0.06	0.02%
廃プラスチック	21.53	7.9%
廃油	1.37	0.5%
廃木材	11.67	4.3%
鉄くず	152.85	55.8%
一般ゴミ	86.52	31.6%
その他	0.14	0.1%
合計	274.131	100%



マテリアルバランス

INPUT	
エネルギー	
電気	332 万kWh
重油	0 kL
灯油	0 kL
軽油	0 kL
都市ガス	0 km ³
LPG	1,448 km ³
資源	
地下水	0 千m ³
上水・工水	9 千m ³
基板コア材	0 m ²
段ボール	0 t
化学物質	
PRTR物質	0 t



OUTPUT	
大気	
CO ₂	1,695 t-CO ₂
水域	
河川	0 千m ³
下水	9 千m ³
廃棄物	
再資源化量	270 t
最終処分量	4 t
PRTR物質移動量	0 t